

谷口・青谷和紙主催

「千年の革新・立体漉き和紙 展」を開催！

2014年7月17日(木)～7月29日(火)

“AOYA”が提案する和紙は世界で初めての技術「立体漉き和紙」が特徴。立体の和紙で作られたランプシェードを中心に新作も展示いたします。柔らかく、あたたかな和紙のひかりに心を和ませながらご覧ください。



和紙のあかりで寛ぎを“AOYA”が提案

「和紙の新しいカタチ」

◆展示概要

“AOYA”が提案する和紙のあかりは、紙は平面状のものという常識的な感覚を覆す「立体漉き和紙」が特徴で、世界で初めての技術です。和紙そのものを球体に3次元で継ぎ目なく均一に漉くことで、たおやかな自由曲線が生まれます。楮の繊維を透過する明かりは柔らかく温かで、自然な風合いとともに空間に寛ぎをもたらし、心を和ませてくれます。そんな生活を豊かにする和紙のあかりをご紹介します。

◆展示商品

・Natural *写真 上

自然の中にある雲や繭といったモチーフを使用。素材感を活かした自然美のデザイン性が、見る人の心を和ませてくれます。

・bi-color washi[新作] *写真 中

これまでは単色のみで表現していた和紙ランプシェード。初めて表裏の色が異なる“立体2色漉き”の技術を開発し、nendoがカタチにしました。内側を白色で漉くことで、透過する光が増え、さらに直下が一層明るくなりました。

・semi-wrinkle washi[新作] *写真 下

和紙自体を立体的に漉くことで継ぎ目の無い美しい造形物が生まれます。和紙の特性を活かすためその上部だけ「シワ加工」を施したnendoデザインシリーズ。プレーンな球形とシワの作る光の美しさが特徴的です。



谷口・青谷和紙株式会社

—開催概要— 千年の革新・立体漉き和紙 展

会 期：2014年7月17日(木)～7月29日(火)
10:30-19:00 / 水曜定休 入場無料
会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：谷口・青谷和紙
協 力：Japan creation space monova

【谷口・青谷和紙 概要】

前身は大正年間、鳥取県にて創業。約1300年の歴史のある因州和紙の産地で、伝統技術を活かし現代生活に提案できる和紙・和紙製品を製造している。最近では、3次元で和紙を漉く“立体漉き和紙”を照明器具に仕立て、ご提案している。
<http://www.aoyawashi.co.jp>